

年国連ウェーサクの日によせて

年 月 日国連アジア太平洋センター本会議場におけるスピーチ

此の度、ITRIが、国連のプロジェクトへの協力や、世界NGOや平和団体との共同事業が認められ、マハチュラロンコーンビジヤラヤ大学のダマコサジャーン学長さんと共に、国連のウェーサク祝祭と国際仏教徒会議の開催を継続してきた実績が認められ、国連の経済社会理事会より国連特別協議資格が授与されたことに対し、心からお祝い申し上げますと共に、世界連邦日本仏教徒協議会として祝典に参加させていただいたことに感謝いたしております。

さて世界の現状を見ますと、依然として紛争は治まらず、貧困・飢餓等の問題も憂慮すべき状況にあり、又環境問題も世界に於ける喫緊の事態となっております。かつて共産党の支配を崩壊させてビロード革命を達成したチェコ共和国のハヴエル前大統領は、21世紀を迎えるに当り世界の識者によるフォーラム2000という会議を開催しました。「次の千年間の人類の共通の価値とは何かを考えたい」というのがテーマでした。そうして「人種民族がその違いを越えて、夫々異なった文化・文明を認め合うグローバルな多面的な共同体意識しか人類を救うものはない」と述べられたのでした。この言葉の内には西欧的な単一的な宗教観による意識を変えなければならないことを促していると見ることもできるのではないかと思います。

ハヴエル前大統領は平和的で調和を重んじる仏教に非常な関心を持っておられて、2003年と2004年の二回、現在世界的な関心が寄せられているチベットのダライラマ14世が会議に招かれて講演しております。2002年には私も招かれ、前大統領夫妻が施主となって修理工事が行われていたプラハにある聖アナ教会で、仏教による儀式を行わせてもらいました。このように古い形式にとらわれない、おおらかな思考をもった指導者こそ、今、世界に求められるところであると思います。

仏教精神はゆるやかではありますが、世界中に広く深く浸透しつつあると思われれます。昨年は世界61ヶ国から仏教徒がこのタイ国にウェーサクの祝祭のために参集され、真に意義ある大会が開催されました。和の精神をもって自然との調和を図りつつ、世界の平和促進を目指す仏教徒の責務は益々大なりと云えましょう。これからもウェーサクの祝祭を基点として世界平和に向かって前進する為の大きな力となることを祈念して止みません。

世界連邦日本仏教徒協議会会長
叡南覚範